

特集 心不全の心臓リハビリテーション — 進行を抑えQOL・症状を改善する治療法 —

企画・構成／安達 仁

診る

- 1 身体所見から心臓リハビリテーションの効果とリスクを予測する
- 2 採血結果から心不全の状態を評価する
- 3 運動の危険性を心エコーから予測する
- 4 運動中の心不全の病態をCPXで評価する

識る

- 5 不安定呼吸を制して心臓リハビリテーションを実践する
- 6 運動中の血行動態
- 7 **Expertise** ステージごとのチーム医療の肝

治す

- 8 ステージA, Bの心臓リハビリテーション
- 9 ステージCの心臓リハビリテーション
- 10 ステージDの心臓リハビリテーション
- 11 超高齢者の心臓リハビリテーション
- 12 **Expertise** 心不全のステージ別栄養管理

バックナンバー

Back Number

2020年2月号 失神患者が来たら！原因を探り、サインを見逃さず、診断・治療を確定する

企画・構成／岸 拓弥

診る

1. 失神ガイドラインの診断フローチャートを熟考する 小林洋一
2. 救急外来での失神をどう対応するか？ 笠井裕平, 坂本 壮
3. [Expertise] 植込み型ループレコーダを活用した失神の診断 河合俊輔, 向井 靖

識る

4. 神経調節性失神を循環生理学で考える 坂本隆史
5. 失神の原因となる不整脈を見落とさないために必要な知識 河野律子, 安部治彦
6. 虚血性心疾患や心不全における失神の意義を症候学から病態生理で考える 西崎光弘
7. [Expertise] 循環器内科医が知っておくべき神経内科にコンサルトを要する失神 赤松直樹

治す

8. 神経調節性失神の治療はどのようにするか 水牧功一
9. 不整脈による失神の治療Update 野上昭彦
10. 心不全における失神は治療標的なのかどうか？ 石原嗣郎
11. [Expertise] 失神センターでの失神診療 古川俊行

〈連載〉責任冠動脈を追え！PCIエキスパートになるための25カ条

第25条 術前後の抗血栓療法エッセンス：これで君もエキスパートだ！

近藤誠太, 新家俊郎

〈連載〉英語による自信がもてる学会発表の技術 プレゼンの方法からバワボの作り方まで

Chapter 2 スライド・ポスターを作成しよう

1 スライド原稿を作る前の準備 制限時間の確認、用意するスライドの枚数は？

スルー・ラインを押さえる具体的な対策法

上嶋徳久, 加藤祐子

2020年3月号 肺高血圧症診療 up to date 最新の知見を診療に活かすために

企画・構成／大郷 剛

診る

1. ニース国際シンポジウムを踏まえた肺高血圧症の診断 佐藤 徹
2. ニース国際シンポジウムを踏まえた肺動脈性肺高血圧症の診断プロセス 青木竜男, 大郷 剛
3. 日本の最新肺高血圧症ガイドライン改訂における重要なポイント 片岡雅晴
4. [Expertise] 肺高血圧症の病理 大郷恵子, 植田初江, 大郷 剛
5. [Expertise] 肺高血圧症における右心機能の評価 浅野遼太郎, 大郷 剛

識る

6. 肺高血圧症における予後評価(リスク分類)を臨床にどう活かすか 古川明日香, 田村雄一
7. 膠原病性PAHの早期診断 白井悠一郎
8. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症の診断 阿部弘太郎, 細川和也, 筒井裕之
9. [Expertise] 左心疾患に関連した肺高血圧症の診断 杉村宏一郎, 下川宏明
10. [Expertise] 呼吸器に関連した肺高血圧症の診断 田邊信宏

11. [Expertise] 肺動脈性肺高血圧症の病因 佐藤公雄, 下川宏明

治す

12. 肺動脈性肺高血圧症に対する治療薬の最新知見 (初期併用療法のエビデンス) 波多野 将
13. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対する最新の肺動脈形成術 内藤貴教, 下川原裕人, 松原広己
14. 肺高血圧症基礎研究からの新規治療の展望 中岡良和
15. [Expertise] CTEPHの外科治療 萩野 均
16. [Expertise] 肺高血圧症に対する肺移植 伊達洋至

〈連載〉英語による自信がもてる学会発表の技術 プレゼンの方法からバワボの作り方まで

Chapter 2 スライド・ポスターを作成しよう

2 メインスライドを決める

一番大事な結果は何か？図で見せるか？表で見せるか？

上嶋徳久, 加藤祐子

2020年4月号 循環補助と呼吸補助 臨床で有効活用するためのポイント

企画・構成／絹川弘一郎

診る

1. 補助循環装置、補助呼吸装置の最近の進歩 波多野 将
2. 急性心不全に至る疾患はどのようなものがあり、その診断はどのように組み立てるとよいのか？ 佐藤直樹
3. 急性呼吸不全に至る疾患はどのようなものがあり、その診断はどのように組み立てるとよいのか？ 鈴木隆宏, 讃井将満

識る

4. [Expertise] 循環不全や呼吸不全による多臓器不全へ至るメカニズムとは？ 絹川真太郎
5. 急性期の呼吸補助はどうすればよい？ 日高貴之
6. 急性心不全における機械的循環補助はどのように導入するか？ 瀬口 理

治す

7. IABPとPCPSはどのように使い分ければよい？ 奥村貴裕

8. [Expertise] Impella®の適応・管理についてどのようにすればよい？ 中村牧子
9. 開胸を要する急性期補助循環(central ECMOや体外設置型VAD)の使用はどのような場合に必要ですか？ 肥後太基
10. 重症呼吸不全に対するVV-ECMOの適応と管理 藤田健亮, 市場晋吾
11. 植込型LVADはどのような患者に適応となるか？
— 重症心不全急性期からの植込型LVADへの移行 — 戸田宏一
12. [Expertise] 海外で使用されている機械的補助デバイスにどのようなものがあるか？ 今村輝彦

〈連載〉英語による自信がもてる学会発表の技術 プレゼンの方法からバワボの作り方まで

Chapter 2 スライド・ポスターを作成しよう

3 一目でわかってもらえるスライドのコツ①

1枚のスライドにOne topic フォントの使い方・配置の仕方

上嶋徳久, 加藤祐子